

I. 広東省

1 中国南方電網と中国広核グループがマレーシア・エドラ社の株を取得

●最近、中国南方電網と中国広核グループが深圳でエドラ社の株式を取得した。中国南方電網が株式の37%を取得したマレーシア・エドラ社は東南アジア最大級の独立発電会社であり、傘下には13の発電所があり、総発電容量は878万kw。エドラ社の発電所はマレーシア、エジプト、バングラデシュ、パキスタン、アラブ首長国連邦と「一帯一路」の沿線5ヶ国に散らばっている（4月9日付「南方日報」8面）。

2 オランダ首相が広東省を訪問

●8日～12日、マルク・ルッテ首相が李克強首相の招待により中国を公式訪問した。10日～11日にはルッテ首相一行は広東省を訪問した（4月10日付「南方日報」1面）。

●11日、李希・書記が広州でルッテ首相と会見した。李希・書記は中国とオランダの友好の架け橋の下、「一帯一路」、広東・香港・マカオビッグベイエリア、広東自由貿易試験区建設のビッグチャンスをしっかり掴み、双方の経済貿易、文化、教育、観光分野での交流・協力を更に深化させていきたいと述べた（4月12日付「南方日報」1面）。

●馬興瑞・省長とルッテ首相が、広東省とオランダ関連の協力プロジェクトの調印式典及びビジネス・ディナーに出席し、挨拶した。馬興瑞・省長は双方が経済・ハイテク関係で豊富な成果が得られることを希望していると述べた（4月12日付「南方日報」1面）。

※ルッテ首相はボアオ、北京、上海、西安も訪問した。

3 深湛鉄道の江門—湛江間（江湛鉄道）が総合調整段階へ

●14日、江門—湛江間が正式に総合調整段階に入り、2度の試運転を成功させた。予定では6月下旬にはテスト営業を開始。広州—湛江間が動車（準高速鉄道）によって現在の8時間から3時間前後に短縮される（4月15日付「南方日報」1面）。

※開通後の深湛鉄道は全長495km、そのうち先行して運行される江門から湛江間は全長369km。

4 馬興瑞・省長率いる代表団がスイスを友好訪問

●12日～14日、馬興瑞・省長率いる代表団がスイスのチューリッヒ州を友好訪問し、省と州の友好交流を実務的に推進し、中国とスイスの地方協力を深めた（4月15日付「南方日報」1面）。

II. 広州市

1 反腐敗にかかる処分

●記者が広州市紀律検査委員会から知りえたところによると、邵ヒン(金ヘンに寶)・広州市来穂人員服務管理局党組織メンバー兼副局長は重大な規律違反で調査されている(4月11日付「広州日報」10面)。

2 温国輝・市長が巴曙松・香港証券取引所董事総経理と会見

●14日昼、温国輝・市長が巴曙松・香港証券取引所総経理と会見し、香港証券取引所と引き続き協力を深め、広州市のより多くの優良企業が香港で上場し融資を受け、大きく強くなって欲しいと述べた(4月14日付「広州日報」1面)。

3 第123回広州交易会が開幕

●本15日、第123回広州交易会が開幕し、2万5千を超える国内外の企業が、210余りの国と地域から集まる(4月15日付「広州日報」1面)。

Ⅲ. 深セン市

1 第6回中国電子情報博覧会が深センで開幕

●9日午前、会期3日の標記博覧会が深セン展覧センターで開幕した。苗圩・工業情報化部長、王偉中・深セン市書記、林少春・広東省常務副省長が開幕式に出席し挨拶した(4月10日付「深セン特区報」1面)。

2 傅華・省党常務委員兼宣伝部長がテンセントのインターネット管理状況を調査・研究

●10日、傅華・省党常務委員兼宣伝部長がテンセントの本社を訪問した。テンセント本部で傅華・常務委員は、インターネット情報の安全とプラスのエネルギーを持つニュース報道への取組状況等に関する説明を聴取するとともに、馬化騰・董事会主席兼CEOとインターネットのコンテンツ管理などの問題について深く意見交換を行った(4月11日付「深セン特区報」5面)。

Ⅳ. 海南省

1 ボアオ・アジア・フォーラム2018年年次総会開幕

10日午前、標記会議が開幕し、習近平・国家主席が出席するとともに、「開放することで共に繁栄を創り出し、イノベーションで未来を導こう」と題するメイン・スピーチを行った。ファン・デア・ベレン・オーストリア大統領、ドテルテ・フィリピン大統領、フレルスフ・モンゴル首相、ルツェラン首相、アバシ・パキスタン首相、リー・シェンロン・シンガポール首相、グテーレス国連事務総長、ラガルド IMF 総裁が出席した。(4月11日付「海南日報」1面)

2 習近平国家主席が南シナ海海上で閱兵

12日午前、中央軍事委員会は南シナ海海上で閲兵式を行い、習近平主席が部隊を検閲するとともに、重要講話を行い、新時代の党の強軍思想を深く貫徹し、人民海軍を全面的に世界一流の海軍とするよう強調した。閲兵式には48隻の戦艦、76機の戦闘機、千名余りの将兵が参加した。(4月13日付「海南日報」1面)

3 習近平国家主席が海南省経済特区 30周年記念大会に出席

13日、習近平主席は標記大会に出席するとともに、重要講話を行い、党中央は、海南省が全面的に改革・開放を深め、新時代の中国の特色を持った社会主義の生きた模範を創り出すことを支持すると強調した。また、海南省に対し以下の指示を行った。(4月14日付「海南日報」1面)

- (1) 海南省は開放を堅持することを優先し、より積極的・主体的な開放戦略を実行し、開放型経済の新体制を早く打ち立て、全面的に開放する新たな局面の形成を推進しなければならない。
- (2) 海南省はより高いスタート地点に立ち改革を計画・推進し、大きな力で体制・メカニズムの弊害を打破し、社会の生産力を不断に解放・発展させねばならない。
- (3) 海南省は新しい発展理念を断固貫徹し、現代的経済システムを建設し、経済の高い質での発展を推進する面で全国の先頭を歩まねばならない。
- (4) 海南省は青い水・緑の山こそ金山・銀山(宝の山)であるという理念をしっかりと打ち立て、また全面的に実践し、エコ文明にかかる体制改革において一歩先を進み、全国のエコ文明建設の手本とならなければならない。
- (5) 海南省は人民を中心とする発展思想を堅持し、人民の日増しに増大していく美しい生活に対するニーズを絶えず満足させ、改革・発展の成果をより多く、公平に人々に及ぼさねばならない。
- (6) 海南省は党の全面的な指導を堅持・強化し、改革・開放を全面的に深めていく正確な方向を確保しなければならない。

4 習近平国家主席が海南省を視察

11~13日、習近平主席はボアオ・アジア・フォーラム出席後、王滬寧・政治局常務委員、劉賜貴・海南省書記、瀋晓明・海南省長同伴で、海南省の瓊海市、三亜市、海口市などを訪問し、具体的にはボアオ楽城国際医療ツーリズム先行区計画館、三亜市にある中国科学院深海科学・エンジニアリング研究所、国家南方植物科学研究・育種基地、海口市にある海南省博物館、海南省政務データ・センター、海口市秀英区石山鎮施茶村を視察した。視察には他に丁薛祥・総書記弁公室主任、劉鶴・副首相、何立峰・国家発展改革委員会主任等が同行した。(4月14日付「海南日報」3面)